



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2015年9月15日 No.144

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

この銅像、どなたですか？ ～ 山口市編 ② ～

山口県内には多くの銅像が建っています。歴史上有名な人物や地域に貢献した人物ですが、「この人だれ？」って思いませんか。



わたしは、山口市の亀山公園にいます
どなたですか？



この銅像の人物は、現在のスペイン出身の宣教師「フランシスコ・ザビエル」です。

宣教師とは、キリスト教を伝えるために国を離れて活動した人のことです。ザビエルは1550年から3度、山口を訪れ、人々にキリスト教の教えを話して回りました。この像は、「井戸端のザビエル像」といい、大殿大路の井戸の傍らで毎日2回話をした様子を表しています。



わたしは、山口市の香山公園にいます。

どなたですか？



この銅像の人物は、南北朝時代の守護大名「大内弘世」です。

室町幕府の将軍足利尊氏、義詮、義満に仕え、たびたび京都に行っていました。山口に本拠地を移した際には京都の街並みをまねて都市の整備を行いました。そのため現在でも山口市は「西の京」と言われます。この後大きく発展していく大内文化の基礎を作った人物と言われています。

次回は山口市以外にある銅像を紹介します。